

FOOTPATH MAP

双葉町

過去から未来へつなぐ道

コース距離 約4.2km

所要時間 約1.5時間

コース概要

双葉町の復興拠点「F-BICC」を中心に海辺を歩くコースです。コースは平坦で歩きやすいコースですが、風が強いため特に冬場は寒さにご注意ください。大型施設の建設や、道や公園の工事が行われているため、月日が過ぎることに景観も大きく変わっていきます。道の変化や通行状況が変わることがあります。まだまだ手つかずの地域も多く「フットパス(小径)」の感覚からは物足りなさもありますが、生々しいリアルな復興の今がそこにはあります。道中の両竹地区では逆に震災前の面影がありますので、歩くたびに復興が進んでいく様子を肌で感じられるコースです。

問い合わせ先

双葉町 復興推進課

TEL 0240-33-0127

8:30～17:15

閉庁日：土・日曜日・祝日・

年末年始(12/29-1/3)



アクセス

JR双葉駅から約2km

シャトルバス約6分 片道200円

シェアサイクル 無料(100円デポジット方式)

お立ち寄りスポット

一年を通して楽しめる
コースとなっています。



双葉町産業交流センター

フードコートやお土産店もある復興拠点施設で、東日本大震災・原子力災害伝承館、復興記念公園に隣接しています。館内には休憩所、フードコート・レストランがあり、屋上の展望スペースからは周囲が一望でできるため、歩き始める前や後に眺めるとフットパスコースの位置取りがよくわかり、より一層楽しめます。



両竹(もろたけ)地区

浪江町と双葉町の両町にまたがる地区で、だんご山から北東側が浪江になります。復興以前の集落の面影や古道が残されており歩いて気持ちの良いエリアです。



中野八幡神社

八幡太郎義家(源義家)の奥州征伐に関連して創建、東日本大震災の際に流出しましたが令和3年に再建されました。東屋や蛙の像などがあり、訪れた人がのんびり休憩できる場所になっています。

マナー

フットパスでは、その地域で培われてきた景観の中を歩くことになります。風土や文化を維持管理してきた地域の方々への敬意を忘れずに楽しんでください。

- 出会った方へ挨拶をしましょう。
- ゴミは持ち帰りましょう。
- 動植物や田畠に植えられた作物、草花等を採取しないでください。
- 家畜や農具などに触れないようにしましょう。
- 田畠や樹林地、屋敷地等の私有地に立ち入らないようにしましょう。
- 気象条件の変化や野生動物には気を付けましょう。
- 特に山あいの樹林では蜂に注意してください。

福島フットパスとは

フットパスとは、古い町並みや里山など地域に根付く風景を味わうウォーキングコース。原子力被災12市町村に点在する福島フットパスは、豊かな文化や自然、地域の人との交流を楽しめるほか、復興の歩みを肌で感じられるのも魅力。歩くからこそ見える新たな一面に出会おう。

双葉町 フットパス
Webサイトは[こちら](#)



4



東日本大震災 原子力災害伝承館

福島で起きた地震、津波、東京電力福島第一原発事故という未曾有(みぞう)の複合災害の実態や、復興に向けた歩みを展示しています。

営業時間 9:00～17:00
定休日 火曜日

両竹諏訪神社

標高約30mの高台にある神社で、上からの眺めは良く太平洋がよく見えます。東日本大震災の際には、大津波から逃れた地域住民など約50名が避難しました。北の浪江側に抜ける道もあります。

しろかき地蔵

しろかき地蔵の名前は、田んぼの「代かき」(田植え前に水を入れて田んぼの土を細かく碎いて平らに均す作業)を由来とする言い伝えから来ているようです。

(私有地なので立ち入らないようにしてください)

5



フタバスーパー ゼロミル・エアー かおる双葉丸

浅野撫糸の工場でタオルなどが買えるショップもあります。さらにKEY'S CAFÉと休憩所も併設しており復興交流拠点となっています。

営業時間 10:00～18:00 定休日 月曜日



ひなた工房 福島双葉

衣料品のリメイク及び再生、オーダーシャツの生産や思い出の再生と創出をテーマにしており、アトリエとショップが併設しています。

営業時間 10:00～17:00 定休日 日・月曜日

FOOTPATH

過去から未来へつなぐ道
: 約4.2km

双葉町

